

シリーズ⑩

農事組員法人 **徳田農産**

〒949-6422 南魚沼市徳田新田47番地  
 ☎782-2662 FAX 782-9026



安全・安心な農産物を消費者へ

徳田農産は平成11年3月に徳田新田で設立された農事組合法人です。地域の中心的な担い手として、水稻22ヘクタール、大豆4ヘクタールを作付けし、枝豆、カリフラワーの栽培にも力を入れています。

米については、種子まきから出荷まで責任をもって品質にこだわった米づくりに取り組んでいます。

徳田農産では、徳田新田周辺で自ら栽培した大豆、<sup>こうじ</sup>糀は塩沢産コシヒカリを使い、原材料にこだわった寒仕込みの赤みそ「雪譜みそ」を製造・販売しています。添加物を一切入れないことにこだわり、1年間じっくり熟成させた、安心・安全な天然醸造みそをお届けできるように努力しています。

従業員はパート、アルバイトを含めて10人で、和気あいあいと日々の農作業やみそづくりに励んでいます。



田植えの様子

今の仕事や職場について語っていただきました

次世代をつなぐ社員 笹木<sup>まさや</sup>正哉さん



市長 就職したきっかけは？

笹木 平成28年の冬にスキー学校で働いていた時に、代表に声をかけられたのがきっかけです。はじめは夏の仕事として徳田農産にお世話になるつもりでした。夏は主に田んぼ、冬はみそづくりをしています。

市長 職場の雰囲気は？

笹木 みなさん優しい人ばかりで良い雰囲気です。トラクターをはじめ、いろいろな機械のオペレーターをやらせていただき楽しいです。田んぼごとに条件が違うので気を使います。まだ作物の品質の判断はできませんが、自分で作業して育てた作物の品質は気になります。カリフラワーについては、少しわかるようになりました。

市長 農作業の機械化についてどう考えますか？

笹木 稲作は農業で一番機械化が進んでいるといえますが、やはり最後の判断は人だと感じています。農業の<sup>アイオーアイ</sup>I o T（モノのインターネット）化は今後も進むと思いますが、行き過ぎた機械化はいかなるものかなと考えるようになりました。

市長 仕事をしていて気になることはありますか？

笹木 天気は気になります。天気が良いと草刈りの回数が増えて大変です。暑い時期の作業になるので、休み時間を多くとるなど体調の管理にも気を使います。

市長 私が田んぼをしていた時と比べて、最近は若い人が多くなっているような気がしますが、実際はどうですか？

笹木 確かに、近くの農園には若い人が大勢います。少しずつでも若い人が増えるのはうれしいです。

市長 今後の目標は？

笹木 私が作ったみそをみなさんに使ってほしいなと思います。地元の材料を使った無添加のみそなので、食べた人においしいといってもらえたらうれしいです。